

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2007-138187(P2007-138187A)

【公開日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2007-53925(P2007-53925)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/10 (2006.01)

C 0 8 L 101/16 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 67/04 Z B P

C 0 8 K 5/10

C 0 8 L 101/16

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガラス転移点が 60 以下である乳酸系ポリエステルが、ジカルボン酸 (I I a)、ジオール (I I b) からなる側鎖を有するポリエステル成分 (I I) と乳酸成分 (I) を、重量比 10 : 90 ~ 90 : 10 の範囲で反応させて得られた反応生成物であり、乳酸系ポリエステル及びポリ乳酸からなる高分子成分 100 重量部に対して、脂肪族多塩基酸エステル、脂肪族多価アルコールエステル、オキシ酸エステル及びロジン系誘導体からなる群から選ばれた少なくとも 1 種である可塑剤を 5 ~ 50 重量部含むことを特徴とするポリ乳酸系樹脂組成物。

【請求項 2】

前記ポリエステル成分 (I I) が、ダイマー酸、ダイマージオール、側鎖を有するプロピレングリコール、1, 3 - ブタンジオールから選ばれた少なくとも 1 種を構成成分とすることを特徴とする請求項 1 記載のポリ乳酸系樹脂組成物。

【請求項 3】

前記高分子成分において、ポリ乳酸の含有率が高々 99 重量%である、請求項 1 または 2 記載のポリ乳酸系樹脂組成物。

【請求項 4】

ジカルボン酸 (I I a) の合計量に対する脂肪族ジカルボン酸の割合が 30 ~ 100 重量%の範囲にあり、かつ、ジオール (I I b) の合計量に対する脂肪族ジオールの割合が 40 ~ 100 重量%の範囲にある請求項 1 ~ 3 のいずれか記載のポリ乳酸系樹脂組成物。

【請求項 5】

ガラス転移点が 50 未満である請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のポリ乳酸系樹脂組成物。

【請求項 6】

厚さ 250 μm のシートを作製したときのヘイズが 20 % 以下である請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のポリ乳酸系樹脂組成物。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれかに記載のポリ乳酸系樹脂組成物からなる成形品。

【請求項 8】

請求項 1 から 6 のいずれかに記載のポリ乳酸系樹脂組成物からなるシート。

【請求項 9】

請求項 1 から 6 のいずれかに記載のポリ乳酸系樹脂組成物からなるフィルム。